

## 「部制の施行」行政組織条例 など提出議案16件を可決



12月定例会議案採決(議案第2号)

今回は	
報告	1件
市長提出議案	15件
議員提出議案	1件
請願	1件

【議案第1号】 令和6年度八幡平市一般会計補正予算(第6号)の専決処分に関する承認を求めることについて

### 1641万円増額 補正予算専決処分

衆議院議員総選挙の実施に伴い、所要の補正を行う必要が生じたが、特に緊急を要するため議会を招集する時間的余裕がないので、専決処分するものです。

Q 衆議院議員総選挙費用の補正だが、そのうち20万4000円が財調基金からの繰り入れになっている。費用の全額が県から交付されるものではないのか。

A 今回の選挙の対象経費は、県の交付金だが、一部の備品購入費に関しては、全額ではなく、その一部が交付金の対象である。

【議案第2号】 八幡平市行政組織条例

### 組織機構を見直し 7年度から部制に

令和8年度からの第3次八幡平

市総合計画による市勢発展に資する在り方について検討を行い、7年度から部制を施行し、より一層の組織横断的な施策の推進、迅速な政策企画立案など、組織強化を図り行政サービスの向上に努めようとするものです。

【議案第8号】 八幡平市印鑑条例の一部を改正する条例

### 印鑑登録証明書の コンビニ交付開始

コンビニエンスストアなどに設置されている多機能端末機による印鑑登録証明書の交付を開始することに伴い、所要の整備をしようとするものです。

Q スマートフォンを利用して印鑑登録証明書を発行できるとのことだが、マイナンバーカードを持たない人も利用できるのか。

A スマートフォン用電子証明書搭載サービスということで、スマホからも証明書を発行できるが、マイナンバーカードを持っていない人は利用できない。

【議案第12号】 令和6年度八幡平市民健康保険特別会計補正予算(第1号)

### 1億6220万円 増額補正予算可決

歳入、歳出それぞれ1億6220万円を増額し、総額30億5041万7千円とするもので、主な歳出は次のとおりです。

▼一般被保険者療養給付費  
1億2000万円(増額)

Q 給付費の1億2000万円は、県の試算だと思いが、市が関わっている部分はあるのか伺う。

A 市では、県の様式にのっとり、医療費や国保の保険者などの情報を報告している。県で全体の試算をしている。県の支出金で予算を組んでいるが、足りなくなった場合には、どのような処理になるのか。

A 基本的には、補正予算で対応している。また、国保会計の基金があるので、不足した場合は、基金を繰り入れて運営していく。

【議案第11号】 令和6年度八幡平市一般会計補正予算(第7号)

### 2億3132万円 増額補正予算可決

歳入、歳出それぞれ2億3131万8千円を増額し、総額191億8810万3千円とするもので、主な歳出は次のとおりです。

▼除雪事業  
1億4254万8千円(増額)  
▼予防接種事業  
1802万1千円(増額)

Q 除雪業務委託料は、今回の補正で約1億4000万円、当初予算で約1億8000万円、合計で約3億2000万円である。作業単価が上昇したことだが、どれくらい上昇したのか伺う。

A 補正予算に計上した単価上昇に伴う増額は、約1400万円、1時間当たりの単価としては、300円から500円の上昇となっている。そのほかの補正については、気象庁などの長期予報に基づき、必要額を再

検討し、併せて過去の実績の平均額を考慮して、予算計上したものである。

Q 9月に行われた決算特別委員会の産業民生分科会の意見として「市内でレプリコ

ンワクチンを使用する場合、慎重な対応を求める」と提言している。今年度のコロナワクチン接種が始まったが、このワクチンの市内での使用状況について伺う。

Q 9月に比べて、市内・市外の医療機関における市民の方々の接種記録を確認したが、このワクチンを使用した実績はない。

A 第3次八幡平市総合計画の策定業務などの事務が発生することから増額している。当初予算では、業務改革を行い、時間外業務を減らし、経費削減をしていくと聞いていたが。

A 職員の健康管理にも関わるため、時間外業務を減らし、効率的な事務に努める。

【請願第4号】 「公立の義務教育諸学校等の教職員の給与等に関する特別措置法」の廃止及び実効性ある学校の働き方改革を求める意見書の提出を求める請願

### 教員の長時間労働 是正を求める請願

請願趣旨

(請願者) 岩手県教職員組合いわて盛岡支部支部長青野大祐) 教職員不足や長時間労働が深刻化する中、「給特法」を廃止し、労働基準法を適用して時間外労働手当を支給する必要があります。また、国が具体的業務削減策を提示し、教職員が子どもたちに向き合える環境を整えることが必要です。これらについて、国の関係機関への意見書提出を請願いたします。

▼総務教育常任委員会の審査結果  
採択すべきものと決定

教職員が一人一人の子どもに十分に向き合える環境の整備と子どもたちの豊かな学びを保障するため、また、深刻な教職員不足を解消するために、実効性のある処遇改善や業務削減を行い、教職員の勤務環境の改善を行うことが必要と考える。

■本会議決議結果 採択

### 質問した事項

- 関 治人 議員 (八起会).....06
  - ・デジタルトランスフォーメーション (DX) について
  - ・岩手山噴火警戒レベル「2」に引き上げられたことによる対応について
  - ・樹海ラインの通行止めについて
- 渡辺 義光 議員 (市民クラブ).....07
  - ・大更駅自由通路の活用とにぎわいづくり創出について
  - ・八幡平市ホストファミリーの会とタマサート大学交流30周年記念事業と今後の展望について
- 勝又 安正 議員 (八起会).....08
  - ・シルバー人材センター運営事業について
  - ・市道鴨志田線整備事業の進捗状況について
- 高橋 悦郎 議員 (日本共産党).....08
  - ・八幡平市ごみ処理基本計画について
  - ・県央ブロック焼却処理以外の中間処理体制に関する基本方針 (案) について
  - ・会計年度任用職員制度について
- 齊藤 隆雄 議員 (日本共産党).....09
  - ・熱中症対策について
  - ・自衛隊への名簿提供について
  - ・訪問介護の現状について
- 熊澤 博 議員 (自由クラブ).....10
  - ・市内建設業の振興策の在り方について
  - ・特別障害者手当の支給について
- 工藤 多弘 議員 (松西会).....10
  - ・(仮称) 大更駅前顔づくり施設について
  - ・少子高齢化や人口減少問題について
  - ・自主防災組織について
- 井上 辰男 議員 (八起会).....11
  - ・公共関与型産業廃棄物最終処分場について
  - ・公共施設等マネジメントの取り組みについて



せき ひろと 議員 (八起会)



## 岩手山への今後の対応は 岩手山火山防災協議会で



岩手山への立ち入り規制看板

**問** 国は仙台管区気象台の観測に基づき、警戒区域を火口からおおむね2km圏内としたが、市はなぜそれ以上の範囲まで規制したのか。  
**市長** 平成30年に策定された避難計画に準じ実施した。  
**問** 今回の規制については、県の防災協議会が開かれず

**樹海ライン通行止**  
**問** 地滑りにより樹海ラインが開鎖されているが、開通の見通しは。  
**市長** 雪が解けた後に調査を行い、判断される。  
**問** 開通が遅れることによる観光エリアの渋滞対策を

早期に検討するべきでは。  
**市長** 関係機関と連携して対策を考慮する。  
**今後のDXの展開**  
**問** 田山地区で行われてきた医療や物流などの実証実験は、地域定着が課題であると思うが、見解を伺う。

**市長** 法律やガイドラインの規制緩和がされておらず実装には、まだ課題が残る。  
**問** メディテックバレーの今後の見通しは。  
**市長** 血圧の数値を自動送信するシステムの開発などの新規事業を行い、地域に定着できるように取り組む。



わたなべよしみつ 議員 (市民クラブ)



## JR乗って歩いて再発見 12駅にフットパス検討中

**問** ケネディ元大統領の名言「国があなたのために何ができるかを問うのではなく、あなたが国のために何ができるのかを問うてほしい」。地方自治の原点である。市婦人会では、「花と輪健やか21」活動でこれを実践している。花輪線を利用し

**市長** 5年度の大更駅乗車人員は1日平均188人。年々利用者の減少が続いている。議員から2回ご提案のあった、市内12駅を拠点にして景観や文化財を活用したフットパス事業は、駅への愛着を育み地域資源を生かした観光振興、まちづ

くりの有効である。各課との連携を図り、各駅にフットパスコースの設定を検討中である。自由通路は市道大更駅自由通路線として管理している。階段や廊下を活用したイベントや物販については、道路の使用許可など事前協議が必要である。



もっとJR花輪線を利用しよう!!

**タマ大学交流30年**  
**問** 市ホストファミリーの会とタマサート大学との交流は30周年を迎えた。成果と市の支援の考えを伺う。  
**市長** 延べ319人の学生がホームステイした。国際交流・理解に貢献している。

※各質問者の録画映像はQRコードからご覧いただけます。



かつまたやすまさ 勝又安正 議員

(八起会)



## シルバー人材の運営強化

### 就業機会の拡大に努める

問 シルバー人材センター運営補助事業の目的は、就業の機会と社会参加により、自立が促され、高齢者の就業が促進されるとある。一方、企業などの定年延長が進み、会員の加入推進が進んでいない現状である。シルバー人材センターは、こ

れからの社会生活に必要な素晴らしい事業であり、市も積極的に関与し、事業の在り方を強化するべきでは。市長 新規事業の支援や人件費などの上昇に対応することによって安定した運営ができるように支援している。働く意欲のある高齢者

へ就業機会を拡大すること、健康増進や生きがいと社会参加促進に寄与する。今後も継続して支援する。市道鴨志田線整備事業の進捗状況は

声を聞く。今後の計画について伺う。市長 新設の橋および不動橋の2橋と安比川とオロベ沢の合流付近の県代行事業は、採択要件に合致しないと回答を受けた。社会資本整備総合交付金事業により、同路線の整備を市で進める。また、早い時期に住民説明会を行う。



派遣会員募集中の看板

### 国道沿いの騒音

問 大型トラックが荒屋新町地区の国道282号を通過する際の騒音対応は。市長 調査を行い、対策を検討していく。



たかはしえつろう 高橋悦郎 議員

(日本共産党)



## ごみ排出量トップ返上を ごみ資源化多額投資必要

問 本市の令和5年度家庭系ごみは、1人1日当たり668gの排出量で県内では最も多い。主な要因は。市民課長 プラスチックごみや生ごみの分別・資源化をしていないことが主な要因と考えられる。問 清掃センターで燃やす

ごみのうち約40%は生ごみ、その80%が水分と言われている。この生ごみを燃やすために年間約3万tの重油と一緒に燃やしている。市が目指す二酸化炭素排出削減に反している。紫波町・矢巾町・盛岡市南地区・葛巻町では生ごみの分別・

資源化が行われているが。市長 プラごみの資源化は、市内で意思を共有している。プラごみの資源化を進めると、燃えるごみに含まれていたプラごみが減少して、焼却時の火力が下がり、これまで以上に重油を燃やすことにつながる。本

来はプラごみと一緒に、生ごみの資源化が必要である。しかし、現状では生ごみの資源化には、施設整備など相当な投資が必要になることから、生ごみ資源化の導入は難しいと判断している。近隣市町と知恵を出し合い、資源化につなげていきたい。問 会計年度任用職員



広域化で取り壊し予定の焼却施設

### 会計年度任用職員

問 人事院勧告を受け、会計年度任用職員の報酬は、4月まで遡って引き上げを行うのか。総務課長 今年度から実績評価も行うため、人事院勧告どおり遡って実施する。



さいとうたかお 齊藤隆雄 議員

(日本共産党)



## 熱中症リスクへの対策は

### 正しい知識と対応策で

問 熱中症リスクの高い高齢者、障がい者、子育て世帯に対するエアコンの購入費用の助成について伺う。市長 県内では国が行っている熱中症警戒アラートの発表は、本年度3回となっているが、当市ではいずれも国の基準値に達していな

い状況である。そのため、エアコン設置に関して補助する考えには至っていない。自衛隊へ名簿提供

求めることができる」と規定されており、市では名簿の提供を行っている。問 個人情報保護法で本人の同意がないのに自治体が提供することは、法的に認められていないと考えるが。市長 個人情報保護法では、個人情報の提供を制限して



熱中症対策はエアコン使用で対応

休止している。今後の対応の考えは。市長 訪問介護サービスは、在宅で生活をする上で大切なサービスと考えている。どこの地域に住んでいる方でも必要なサービスが受けられる体制の構築を目指していく。

※各質問者の録画映像はQRコードからご覧いただけます。



くまざわ ひろし 議員 (自由クラブ)



(自由クラブ)

## 市の宅地開発許可制度

### 協議と開発協定の締結

**問** 当市における宅地の開発許可制度の在り方を伺う。  
**市長** 平成17年に市宅地等開発要綱を定めており、都市計画区域内は2千平方メートル以上3千平方メートル未満の宅地開発事業を行う場合は、市と協議および開発協定の締結が必要である。

**問** 建設投資が減少する中、市建設協同組合には、軽舗装のような工事も必要ではないか。  
**市長** 市建設協同組合には、西根・松尾地区の市道および権限移譲県道の除雪や安代地区の除雪・排雪作業を委託している。また、本年

度から西根・松尾地区の路肩除草や安代地区の防雪柵の組み立ても委託している。軽舗装などの早期発注が可能な工事に配慮して公共事業の推進に努める。

**問** 別障害者手当の年間支給額は39万6080円で、肢体が不自由で介護が必要な人たちに助かるものがある。制度の周知徹底は、どのように行っているのか。  
**地域福祉課長** 障害者手帳しおりを渡す際の説明に加え、ホームページや広報に



除雪作業中の市建設協同組合

### 特別障害者手当

**問** 国の手当制度である特

掲載して周知している。

**問** 全国的に要介護3、4、5の方の7・2%が対象になるという試算もあるが、今後の取り組みは。

**地域福祉課長** 地域ケア会議などのケアマネジャーや相談員の集まりで詳しく説明していく。



くどう たひろ 議員 (松西会)



## 顔づくり施設の指定管理

### 7年度に指定管理者募集

**問** (仮称)大更駅前顔づくり施設の維持管理について、賃金上昇や電気代を含む光熱水費の増加など、社会情勢を踏まえた精査が行われているのか。また、年間7〜9千万円の維持管理費を見込んでいるが、現状に変わりはないか伺う。

**市長** 県内で同程度の施設を所有する自治体にヒアリングを行った。その結果、光熱水費や点検費用、維持管理費などの増加傾向が確認された。当施設も大きな影響を受ける見込みである。各課と連携して施設運営に掛かるコストを抑制する。

**問** 施設の指定管理の要件・募集方法・審査方法について、内容の詳細を伺う。  
**市長** 今年度中に運営方針を確定し、条例や予算などを審議後、募集要項を策定する予定である。7年度に指定管理者の募集を開始し、

**防災組織の結成**  
**問** 自主防災活動は、災害発生時に住民の命を守るため、非常に重要であると考える。しかし、当市の自主防災組織は3組織であり、早期に市内全域で自主防災組織を結成するべきと捉

えているが見解を伺う。  
**市長** 市内全域での自主防災組織結成に向け防災リーダー育成や振興協議会単位での組織化に関する説明会を実施している。今後も人材育成と組織の重要性について説明会を開催し、速やかな組織化に努めていく。



工事が進む大更駅前顔づくり施設



いのう え た つ お 議員 (八起会)



## 平館椋沢産廃最終処分場

### 供用開始は令和9年度



水路越水による土のう設置状況

**問** 軟弱地盤改良工事により工期が延長となったが、奥州市「いわてクリーンセンター」に影響はないのか。  
**市長** かさ上げ工事で、埋め立て容量を増やし、令和9年度内まで受け入れ可能。  
**問** 集中豪雨などで、下流域の椋沢地区に水害が発生

した。今後の対応を伺う。  
**市民課長** 一部越水対策として土のうを設置した。事業団を含め、水路管理者と協議し、越水対策を行う。また、緊急時の連絡先を地域住民に周知を図る。  
**問** (仮称)椋沢大橋架け替え工事の進捗状況は。

**建設課長** 現在の進捗率は54%、工期は、令和7年12月3日までの予定である。  
**人口減少に伴う公共施設の適正化**  
**問** 未利用施設17施設の現状を伺う。

**市立病院事務局長** 週1回程度施設の状況を確認し、危険箇所の把握、外壁材落下防止対策、浄化槽および地下重油タンクの廃止手続きを完了している。  
**問** 西根・松尾地区中学校統廃合における廃校後の管理、利活用の考え方を伺う。

**教育長** 学校施設は、地域の機能を担ってきた歴史がある。廃校後の跡地活用は地域の活性化や発展のために、地域住民が集い、世代間交流の場としての活用が望ましく、地域の意見を伺い検討していく。

※各質問者の録画映像はQRコードからご覧いただけます。